

前田道路



面的に出来形リアルタイム計測

本工事は、慢性的な交通渋滞が続く秋田市河辺地区の国道13号を4車線に拡幅する工事である。弊社と法政大学（今井龍一教授）と三菱電機エンジニアリングが共同開発し、国土交通省の「建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新技術の導入・活用に関するプロジェクト」に選定された「地上移動体搭載型レーザスキャナ・

みとして試行的に実施している。舗装工の各層の出来形を面管理でリアルタイムにできるこの技術は、現地作業や計測データ解析などの時間短縮・省人化に加え、遠隔現場による待機時間の解消などにつながる事が期待される。

形管理システム」による舗装工の施工管理を国内初の取り組み

建設搭載型出来形管理システム」による舗装工の施工管理を国内初の取り組み

発注者の東北地方整備局秋田河川国道事務所と共催したICT舗装現場見学会には多くの土木技術者から参加をいただいた。高い品質を確保しつつ、現場の働き方改革を促進させるICT技術として一日も早く現場に実装したい。

監督技術者 中田智

国内初の取り組み

